

地域	愛媛県 四国中央市	認定日	平成30年2月9日	通巻番号	7 - 29 - 065
----	-----------	-----	-----------	------	--------------

④新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

## 瓦の破砕(セラミック礫)を活用した土を使わない盆栽及び樹木の開発・製造・販売

破砕瓦(セラミック礫)を使用した培養体による赤石五葉松と真柏の盆栽、及び桜・樺・槇といった庭木・街路樹等の開発・製造・販売を行う。

### ➤ 連携体

農林漁業者

(同)赤石の泉(法人番号 1500003001588)(花き作農業)

長年蓄積された盆栽・樹木の栽培技術を有している。(有)トヨシマ瓦店から搬入された数種類の大きさのセラミック礫を最適な組み合わせに混合した培養体を用いた盆栽・樹木の製造・販売を行う。

中小企業者

(有)トヨシマ瓦店(法人番号 7500002015105)(建築材料小売業)

(同)赤石の泉の要請に応じて数種類の大きさに破砕した瓦(セラミック礫)を製造し、供給する。

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構四国本部

### ➤ 連携の経緯

(同)赤石の泉は、盆栽及び樹木の育成と販売を行っており、瓦の破砕(セラミック礫)の特徴である保湿性の高さと害虫を寄せ付けにくい防虫性質に着目し、培養体としての実験を行うとともに、このセラミック礫を当社の希望する大きさに粉砕し、必要量を安定的に供給してくれるルートを探していたところ、(有)トヨシマ瓦店は、地域最大級の中古瓦収集ネットワークを持ち、中古瓦を礫に粉砕する破砕機を有していた。

そこで、それぞれの経営資源を持ち寄って連携し、本事業に取り組むこととなった。



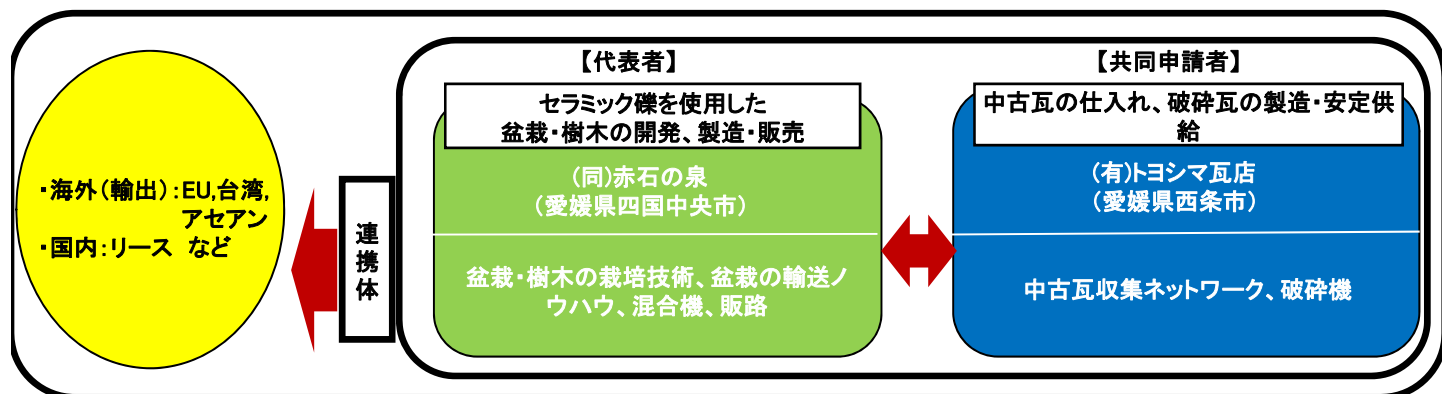
赤石五葉松の盆栽



破砕瓦(15mm)

### ➤ 連携に当たっての課題や工夫等

本事業では、(有)トヨシマ瓦店は建築現場等から収集した中古瓦を自社の破砕機で(合)赤石の泉が必要とする数種類の大きさに破砕し、そのセラミック礫を(合)赤石の泉の工場へ搬入する。(合)赤石の泉は数種類の大きさのセラミック礫を最適な組み合わせに混合し、それを培養体として使用した盆栽・樹木を製造・販売を行う。



### ➤ 連携による効果

農林漁業者

5年で4,600万円の売上高増加、収益性の改善

これまでの大都市圏への販売・リースネットワークを生かして、新たな盆栽・樹木を開発・販売することにより、売上の増加と収益性の改善が期待される。

中小企業者

5年で720万円の売上高増加、安定的な収益確保による経営安定

本事業による新たな盆栽・樹木の生産量増加に伴うセラミック礫の供給量の増加により、安定的な収益の確保が図られるなど、経営の安定化が期待される。

### ➤ 代表企業等の連絡先

企業等名 : 合同会社赤石の泉

T E L : 0896-74-2698

E - m a i l : info@ecomate.am

所在地 : 愛媛県四国中央市土居町上野甲1525番地

F A X : 0896-74-5634

ホームページ : <https://www.facebook.com/akaishinoizumi/>